

地域4 パラメータ適用パターン

該当する地域

神奈川県、富山県、石川県※、福井県、山梨県、長野県、岐阜県

※H19年能登半島地震に伴うパラメータ提供範囲については、別途考慮が必要なため、地域9の適用パターンを参照すること

パラメータ補正は表中の番号順に実施し、各補正の出力値を次のパラメータの入力値とすること

測量時期	基準点の種類と補正に使用するパラメータ	
H23. 3.11	測量時の与点	補正に使用するパラメータ
	電子基準点 電子基準点に準拠した 三角点・基準点	東北地方太平洋沖地震パラメータで水平座標補正後 ①測地成果2011移行パラメータ ②橢円体高改定補正パラメータ ③ジオイド・モデル改定パラメータ
	その他	東北地方太平洋沖地震パラメータで水平座標補正後 ①測量時期の違いによる不整合量補正パラメータ ②測地成果2011移行パラメータ ③橢円体高改定補正パラメータ ④ジオイド・モデル改定パラメータ ※舢倉島については、平成28年4月時点でパラメータが存在しないため、補正することはできません。
	東北地方太平洋沖地震	
H26. 4.1 (舢倉島以外) H28. 4.1 (舢倉島)	測量時の与点	補正に使用するパラメータ
	電子基準点 東北地方太平洋沖地震後の測量によって電子基準点に準拠した三角点・基準点	①橢円体高改定補正パラメータ ②ジオイド・モデル改定パラメータ
	東北地方太平洋沖地震前の測量によって電子基準点に準拠した三角点・基準点	①測地成果2011移行パラメータ ②橢円体高改定補正パラメータ ③ジオイド・モデル改定パラメータ
	その他	①測量時期の違いによる不整合量補正パラメータ ②測地成果2011移行パラメータ ③橢円体高改定補正パラメータ ④ジオイド・モデル改定パラメータ ※舢倉島については、平成28年4月時点でパラメータが存在しないため、補正することはできません。
ジオイド・モデル改定		

今回の標高改定で考慮すべき補正パラメータ

【既存のパラメータ】

- H19年 能登半島地震標高補正
- H19年 中越沖地震標高補正
- H20年 北海道三角点標高改定
- H21年 紀伊半島三角点標高改定
- H22年 東北三角点標高改定
- H23年 東北地方太平洋沖地震 座標及び標高補正

(「H20年 岩手・宮城内陸地震標高補正」は、「H22年 東北三角点標高改定」の補正量と同一のものであるので考慮しない。また、「H19-20 宮古島標高補正」については、今回の標高改定範囲に含まれていないので考慮しない)

【新たに作成するパラメータ】

- 測量時期の違いによる標高不整合補正
長年の地殻変動等による標高変動量の補正。電子基準点に準拠していない基準点等で使用本パラメータを用いて補正することで、旧ジオイド・モデル(日本のジオイド2000)に整合した標高となる。
- ジオイド・モデルの改定に伴う標高補正
ジオイド・モデルの改定に伴う標高の補正
- 測地成果2011への移行に伴う標高不整合補正
測地成果2000から2011に移行した際に生じた中日本での標高不整合の補正
- 電子基準点楕円体高改定に伴う標高補正
H26/4/1の電子基準点楕円体高改定に伴う標高の補正

補正パラメータ適用パターンの選択において必要な情報

【測量地域】

対象とする基準点成果等あるいはその測量の地域(都道府県)

【測量時期】

基準点成果等を求めるために行なった測量の実施時期

【測量の既知点】

基準点成果等を求めるために行なった測量における既知点の種類